

アサザプロジェクト 学習プログラム集

出前授業の

アサザプロジェクトでは、地域の自然や生きものをテーマとした様々な学習プログラムを提供しています。学校や地域特性に合わせた総合的な学習(環境学習、教科学習)を行うことで、地域の未来を担う子どもたちの学習意欲を高め、生きる力を育てます。御校のこれまでの学習を活かし、広げるプログラムをご提案します。これまでに霞ヶ浦・北浦の流域にある200校以上の小中学校、幼稚園、高等学校をはじめ、全国各地の学校で採用頂いた実績があります。子どもたちの夢“生きものと共生する社会の実現”にむけて、地域レベルから地球レベルまで、さまざまなプログラムをご用意しています。

1 つかむ 生きもの(他者)の 視点に立つ

生きもの(他者)の視点に立つ方法を学びます。他者の視点に立つことで、見慣れた風景が一変します。その大切さや面白さに気づきます。



2 深める 生きもの(他者)の 視点で課題発見

プールやビオトープ、野外観察をとおして、生きものの「体のつくり」「くらし」「すみか」をよく観察します。人間の視点では気づかなかった「つながり」や生きものの移動をさまたげる「分断」を発見します。



3 はたらきかける 課題解決のための行動

発見した「分断」を「つながり」に。生きもの(他者)の視点と人間の視点で、新しい「つながり」を提案します。そのためには、他者(生きもの)の立場に立った『はたらきかけ』が必要です。『知識』だけの学習では得られない、『参加』や『行動』を伴った学習ができます。まちづくり学習への展開も可能です。



4 つながるひろがる 交流から協働へ

これまでの学習を他校と発表しあいます。同じ夢を共有する子供たち同士が交流し、意見を交わします。子どもたちの取り組みが結びつき、より深い交流と共感をもたらします。ひとりひとりの学習意欲や夢の広がりとともに、子どもたちのネットワークが流域規模で広がります。ひびき合う心、共感する力を養います。



学習プログラム紹介

生きものとお話ししよう



生きもの(他者)の「体のつくり」「くらし」「すみか」を勉強して、子どもたち自身が生きもの(他者)の視点に立つ方法を学びます。生きもの(他者)の視点に立って身の周りを見つめ直すことで、生きもの(他者)たちが困っている理由に気づきます。また、助ける方法も考えることができるようになります。

ねらい・科学的な考え方を身につける
・他者の立場を理解する

学校の生きものとお話ししよう



プールのヤゴ救出から様々な学習の展開ができます。救出したヤゴのスケッチを行うことで、「体のつくり」「くらし」「すみか」の関係を理解することができます。さらに、プールとは異なる環境(ビオトープなど)で見つけたヤゴと比較することで、環境(すみか)と生きもの(体のつくり・くらし)の関係も学習することができます。

ねらい・野外での観察力を身につける
・生きもの(他者)と環境の関係を理解する

生きものの道を調べよう



学校の生きものは、どこからどのようにやって来たのか、生きものの道を探しに野外に出ます。他者（生きもの）の視点に立って学校周辺の環境を調べることで、人間の視点からは気づかなかった「つながり」や「分断」を発見します。

- ねらい**
- ・野外での調査方法を学ぶ
 - ・他者の立場を理解しながら、実践する
 - ・課題に気づく
 - ・環境の「つながり」を通して、学校内から学区へと視野を広げる

学校に生きものの道をつなげよう



生きものの道の「分断」に気づいた子どもたち。生きものの道をつなげるために、ピオトープ(人工池)をつくります。いろいろな生きものの視点に立ち、さらには昔の水辺や森を参考に、様々な環境が生まれるよう設計します(お年寄りからの聞き取りとも連携できます)。既存のコンクリート池やプールの改造でも可能です。作ったとたん、生きものがやってくることも。課題を解決した達成感を得られる瞬間です。

- ねらい**
- ・課題を解決する力を身につける
 - ・提案する力(表現力・伝える力)を身につける
 - ・行動(主体的な働きかけ)する力を身につける

教えておじいちゃん おばあちゃん(聞き取り調査)



学校の周りや里山・湖の昔の様子を地域のおじいちゃんやおばあちゃんに聞き取りをして調べます。昔と今の様子と比べて、昔はよく見られた生きものが最近見られなくなってしまった原因を考えます。また、人の暮らしや環境の変化を知り、昔住んでいた生きものを呼び戻す方法や、地域にあった自然再生について考えます。

- ねらい**
- ・課題に気づく
 - ・土地の成り立ちを知る
 - ・お年寄りの知恵や経験に触れ、尊敬の気持ちを養う

湖をよみがえらせよう



霞ヶ浦・北浦の岸辺はコンクリートで覆われ、生きもののすみかが減ってしまいました。生きもののすみかや道を増やすため、生きものの視点に立ってその方法を考え、実践します。例えば、水草の育成、湖への植え付けや生きもの観察などです。毎年1万人以上の小・中学生が湖に入って活動しています。実際に自然が再生している様子も目にする事が出来ます。夢を共有して協働することの喜びを感じる瞬間です。

- ねらい**
- ・自然の仕組みを知る
 - ・課題を解決する力を身につける
 - ・提案する力を身につける
 - ・行動する力を身につける

水の生まれる場所 谷津田



霞ヶ浦・北浦の水源は、流域に千ヶ所以上ある谷津田(谷間の田んぼ)です。かつては人が関わることで、水の道・生きものの道として維持されてきました。しかし、現在は人の関わりが途絶え、水の道・生きものの道も分断されています。生きものの視点に立って谷津田を調べ、「分断」に気づくと同時に、「つながり」を取り戻す方法を考えます。

- ねらい**
- ・自然と人と生きものの結びつきを学ぶ
 - ・昔の暮らしや土地の成り立ちを知る
 - ・他者の立場を理解しながら、実践する
 - ・課題に気づき、解決する
 - ・提案する力を身につける

宇宙からカエルをみつけよう



衛星画像を用いて、霞ヶ浦流域の全体を感じながら、地域の環境を見つめなおします。このプログラムでは、特に環境の変化に敏感なカエルに注目します。カエルは霞ヶ浦の水源である湧水地で産卵し、森や湿地、草地を通して移動します。これまでの学習をもとに、様々な環境を利用してくらすカエルの「すみか」や「道」を衛星写真から推測し、実際の場所を調査します。

- ねらい**
- ・広い視野で物事を見る力を身につける
 - ・流域単位の「つながり」に気づく
 - ・先端科学技術を身近な問題解決に活かす

水源の森を元気にしよう



霞ヶ浦・北浦の水源である森の環境を調べ、それをもとに、元気な森にする提案作りをします。さらには地域の方々と協力して、働きかけ(作業)をします。タカやフクロウが舞い、スミレやカタクリが咲く森をみんなの手で実現します。学校林でも可能です。下草刈りや間伐(生え過ぎた木を間引く作業)体験もできます。

- ねらい**
- ・自然と人と生きものの結びつきを学ぶ
 - ・昔の暮らしや土地の成り立ちを知る
 - ・課題に気づき、解決する
 - ・提案する力を身につける
 - ・行動する力を身につける

交流から活動をもっと広げよう



同じ夢を共有する仲間と交流します。たとえば同じ流域の湖に近い学校と水源に近い学校、秋田県八郎湖流域や東京、九州をはじめとする国内遠隔地、さらには渡り鳥など生きものの道を通じた国際交流など。交流を通して、互いの違いを再発見し、学区の地域特性をよく理解することで、これまでの学習をよりよいものにすることができます。

- ねらい**
- ・広い視野で物事を見る力を身につける
 - ・ひびき合う心や共感する力を身につける

まちづくりを提案しよう



これまでの学習プログラムで学んだことを活かして、学区を単位としたまちづくりを提案します。生きものの視点で身のまわりを見つめ直した子どもたちは、人間と生きものが共存できる、これまでにない画期的なまちづくりの提案ができるようになっていきます。子どもたちの夢が詰まった提案は、多くの地域で受け入れられ、実現しています。生きる力を育てる本当の意味での総合学習となるでしょう。地域特色を活かしたブランドづくりの授業も実施しています。

ねらい・地域に誇りを持つ ・提案する力を身につける ・行動する力を身につける

循環型のまちづくりを提案しよう



流域の自然再生から食育、地域活性化、CO₂削減、ゴミ削減など、循環型社会の実現を視野に入れた学習をします。学校の花壇や、近隣の畑地などでナタネやヒマワリを栽培します。収穫した種から搾油して、給食や調理実習で利用します。廃油はバイオディーゼルに加工して車の燃料として使うという、植物を活用したCO₂削減モデルを体験します。同時に、子どもたちの自由な発想と太陽光発電や生ゴミの堆肥化など、環境技術を合わせたその土地ならではの新しい循環型モデルの提案をします。

ねらい・地域の将来を担う人を育てる
・提案する力を身につける
・行動する力を身につける

みなさんも、地域の活性化や自然再生を目指して、一緒に活動しませんか？

アサザプロジェクトでは、毎年1万人以上の子ども達と学習を進めています。

また、霞ヶ浦・北浦流域外、茨城県外でも同じようなコンセプトで総合学習や環境学習の企画、実施ができます。

実際に、秋田県八郎湖や滋賀県琵琶湖流域、東京都や北九州市など全国各地で授業を展開しています。

まずは、お気軽にご相談ください。



問 特定非営利活動法人 **アサザ基金**

合 〒300-1222 茨城県牛久市南3-4-21

電話：029-871-7166

FAX：029-801-6677

せ E-mail：asaza@jcom.home.ne.jp

先 WE B：http://www.kasumigaura.net/asaza/

